

愛知県流域下水道事業経営戦略 2020年度の取組実績

1 数値目標※1

項目		2014年度 (基準年)	中期目標	2020年度 までの実績	進捗状況等
快適な水環境を創造する	下水道処理人口普及率 (名古屋市含む)	75.6%	約85% (2025年度)	79.9%	2025年度までの目標85%に対し、4.3%進捗した(概ね計画どおり進捗)
	高度処理人口普及率 (名古屋市含む)	40.7%	約55% (2025年度)	47.3%	2025年度までの目標55%に対し、6.6%進捗した(概ね計画どおり進捗)
安心・安全なまちづくりを支える	流域下水道の耐震化 処理場・ポンプ場	216施設	269施設 (2023年度)	238施設	2023年度までの目標53施設に対し、22施設整備した(計画を下回る進捗)
	流域下水道の耐震化 管きよ	332km	332.9km (2023年度)	332.9km	2023年度までの目標0.9kmに対し、全て完了した(目標達成)

※1 数値目標は、『あいち下水道ビジョン2025』に示したもののうち、流域下水道に関連するもののみ記載。

2 経営指標

項目		2020年度実績	2019年度実績	2019年度 類似団体平均※2
経営の健全性	経常収支比率【単年度損益】	100.25%	97.44%	100.49%
	流動比率【キャッシュフロー】	99.32%	99.01%	97.37%
経営の効率性	汚水処理原価【費用の効率性】	42.60円/m3	42.97円/m3	50.64円/m3
	施設利用率【施設の効率性】	77.20%	78.89%	67.21%
	水洗化率【施設の効率性】	86.92%	86.57%	93.21%
老朽化の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	7.72%	4.05%	39.35%

※2 類似団体平均は、全国の流域下水道事業を実施している自治体のうち、供用後30年経過している自治体の平均。

3 投資・財政計画との比較

収益的収支(税抜) (単位:千円)

年 度		2020年度			
区 分		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	営業収益	12,045,415	12,567,389	521,974	104.3%
	営業外収益	16,708,741	17,101,611	392,870	102.4%
	収入計	28,754,156	29,668,999	914,843	103.2%
支 出	営業費用	28,864,355	26,785,738	△ 2,078,617	92.8%
	営業外費用	1,958,548	2,810,034	851,486	143.5%
	支出計	30,822,903	29,595,772	△ 1,227,131	96.0%
当年度純利益(又は純損失)		△ 2,068,747	73,228	2,141,975	△ 3.5%

資本的収支(税込) (単位:千円)

年 度		2020年度			
区 分		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	企業債	6,018,000	6,031,000	13,000	100.2%
	他会計出資金	1,665,693	1,665,693	0	100.0%
	国補助金	7,330,995	7,885,013	554,018	107.6%
	建設負担金等	2,018,852	1,862,196	△ 156,656	92.2%
	収入計	17,033,542	17,444,769	411,227	102.4%
支 出	建設改良費	12,985,728	13,821,234	835,506	106.4%
	企業債償還金	8,259,904	8,254,317	△ 5,587	99.9%
	支出計	21,253,132	22,075,551	822,419	103.9%
損益勘定留保資金等充当額		4,219,590	4,630,782	411,192	109.7%

4 2020年度の主な取組

○汚水処理施設整備(管きよの整備)

- ・日光川下流流域下水道 8号幹線 L= 698m (2021年度完了予定)
- ・新川西部流域下水道 春日幹線 L=1,191m (完了)、 L=590m (2021年度完了予定)
- ・新川西部流域下水道 稲沢幹線 L= 727m (2021年度完了予定)

○汚水処理施設整備(水処理施設の増設、高度処理施設の整備)

- ・矢作川浄化センター Q=20,000m3/日 (完了)
- ・境川浄化センター Q=17,400m3/日 (完了)
- ・衣浦東部浄化センター Q=10,200m3/日 (完了)
- ・五条川右岸浄化センター Q= 7,950m3/日 (2021年度完了予定)
- ・新川東部浄化センター Q= 5,140m3/日 (2022年度完了予定)
- ・日光川下流浄化センター Q=12,050m3/日 (完了)

○地震対策(処理場の耐震化、非常用自家発電設備の整備)

- [処理場の耐震化] 矢作川浄化センター、境川浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター
- [自家発電設備の整備] 境川浄化センター(2021年度完了予定)、日光川下流流域下水道 津島ポンプ場(完了)

○老朽化対策(処理場)

- ・矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光川上流浄化センター、五条川右岸浄化センター

○広域化・共同化(共同汚泥処理施設の整備)

- ・衣浦西部浄化センター(2021年度完了予定)

○下水汚泥のエネルギー利用

- ・矢作川浄化センター(バイオガス燃料利用) ・豊川浄化センター(バイオガス発電)
- ・衣浦東部浄化センター(炭化燃料製造)

○施設・土地の有効活用

- ・衣浦西部浄化センター、豊川浄化センター、日光川下流浄化センター(太陽光発電・土地貸付)